

新県立美術館の名称に対するご意見と県担当部局の考え方

- 意見募集期間 令和2年7月8日（水）から8月7日（金）まで（32日間）
- 意見総数 65件（説明会44件、郵送2件、FAX3件、メール16件）
- 意見募集の質問：「名称変更（検討案：長野県立美術館）について」 ご意見等ございましたらご記入の上、ご提出ください。

No.	整理区分	ご意見の内容※一部原文を省略しています	名称変更の考え方
1	説明会	「長野県立美術館」(信濃美術館&東山魁夷館)	<p>新しい県立美術館は、この度の建て替えを契機にソフト、ハード両面で美術館のあり方を一新し、芸術文化の拠点としてのみならず、県内外からお越しいただく皆様の憩いの場、観光スポットとして役立っていききたい、活かしていきたいと考えています。</p> <p>①展覧会の充実</p> <ul style="list-style-type: none"> ・新たに設ける常設展示室では、菱田春草や村山槐多など4,600点余りの収蔵作品を展示できるようになります(常設展を年6回開催予定)。 ・展示環境の大幅な改善により、国宝や重要文化財を含む企画展や全国規模の巡回展が開催できるようになります(企画展を年5回開催予定)。 ・「自然と人の共存・共栄」というテーマを新たに加え、コレクション領域を充実し、長野県ゆかりの作家や県内の風景だけでなく、国内外の優れた作品や、近現代の美術作品の収集、展示に努めます。 <p>②美術による「学びの支援」の拡充</p> <ul style="list-style-type: none"> ・「学びの県づくり」の一環として、アートコミュニケーション(人とアートのつなぎ手)による対話型鑑賞や学芸員によるワークショップなどを開催します。 ・学びの場として、アート・ライブラリーを新設します。
2	説明会	長野県立美術館 良いです。	
3	説明会	大変好ましい名称で大賛成。信濃は古くからの名称で、県歌も信濃の国だが、全国から見て現長野県だと思っている人はどれほどいるか。	
4	説明会	立派な美術館になりましたので、名称変更賛成です。	
5	説明会	長野県立美術館がよいかと思います。主体がはっきりしている。	
6	説明会	昔の名称であることは確かだが、県歌として親しまれ、決して古いという印象はなく、全国に広めてほしい名称だと思います。	
7	説明会	長野県立信濃美術館とし、「信濃」に想いを残す。	
8	説明会	従来信濃美術館でオープンしてほしい。	
9	説明会	昭和41年以来、県民に親しまれてきた「信濃」をはずすのか不明。信濃の国善光寺と言われるように、県民のアイデンティティを形成してきたもの。	
10	説明会	信濃美術館の歴史もあるので、何とか残せないか。	
11	説明会	信濃の名称は長野県民としては、なじみのあるもので捨てがたいが、県外の方にとっての認知度は低い。長野県立美術館がふさわしいと思われる。	
12	説明会	長野県立美術館でよいと思います。長野県立信濃美術館だと長野と信濃が二重の感がある。	
13	説明会	他の都道府県立美術館との丈を揃える意味でも長野県立美術館の名称がふさわしいと考えます。信濃の意味は、何も美術館の名称から教える機会を与える必要はないと思います。	
14	説明会	他県の県立美術館もある程度ステイタスとして認められるので、国のレベルで見ても良いと思います。	
15	説明会	信濃の名称へのこだわりを美術館が背負う必要はないと思います。ぜひ長野県立美術館にしてほしい。	
16	説明会	長野県立信濃美術館が良いと思います。豊かな文化を連想させます。長野県立美術館は味気なさ、冷たい感じを受けてしまいます。	
17	説明会	長野県立信濃美術館が良いと思います。	
18	説明会	信濃美術館だと私立か分かりにくいので、長野県立信濃美術館としてはどうか。	

19	説明会	長年親しまれてきたので分かりやすく、アイデンティティが感じられる。信濃美術館が積み重ねてきた歴史を大切に、長野県立信濃美術館としてはどうか。	<p>③県内美術館の中核的役割</p> <ul style="list-style-type: none"> ・県内美術館と連携した交流展を開催します。 ・県立美術館の収蔵作品を他の美術館でもご覧いただけるよう、移動展を開催します。 ・県内の若手作家を育成するため、県内関係機関と連携し、創作活動や発表の場の提供に取組ま <p>④ハード面の充実～美術鑑賞以外の機能も充実</p> <ul style="list-style-type: none"> ・「ランドスケープ・ミュージアム」として善光寺をはじめとする周囲の環境と一体となった景観を作り出します。 ・屋上広場やカフェレストランなど、チケットなしでご利用いただける場を増やします。 ・触れる美術作品や映像作品もチケットなしでご覧いただけます。 ・レセプションルームで館主催のイベントを開催します。 <p>多くの方に親しまれてきた信濃美術館の名称については、今回、ソフト・ハード面で大きく生まれ変わるにあたり、美術館の性格を分かりやすく示すとともに、国内外の皆様に対して広く来館を呼びかけるため、「長野県立美術館」という新たな名称でスタートしていきたいと考えています。</p> <p>先人の取組に対する敬意と感謝、そして開館以来の歴史を継承する対応を行っていきます。</p> <p>※美術館については、ネーミングライツは予定していません。</p>
20	説明会	他の市ならともかく、長野市にあって長野県立美術館はないと思う。	
21	説明会	信濃美術館はローカルなイメージが残るが、長野県立美術館だと全国的レベルの美術館としてスタートできると期待。	
22	説明会	変更案を没個性。県民にとって信濃は愛着深く、愛されている名称。「長野県立信濃美術館」でもよい。	
23	説明会	長野県信濃美術館のままでよい。	
24	説明会	長野県立美術館に大賛成です。	
25	説明会	上田市立美術館がサントミュージゼの愛称で定着してきたので、正式名称は長野県立美術館で、愛称を考えるとよいと思います。	
26	説明会	検討案で良いと思います。	
27	説明会	今までのイメージで信濃を入れてほしい。	
28	説明会	県歌信濃の国にあるように、全国的にも今までの名称の方が良いと思います。検討案はどこにでもあるので、埋没してしまうような気がします。	
29	説明会	信濃美術館が親しまれている。県立信濃美術館でもよいと思いますが、長野県立美術館ではつまらない。	
30	説明会	信濃美術館の名称は残して欲しい。	
31	説明会	長野県立信濃美術館が親しみやすい。呼称は信濃美術館でよい。	
32	説明会	長野県立信濃美術館を希望。	
33	説明会	信濃美術館で良い。	
34	説明会	検討案ですと全国の美術館に右ならえと感ずます。長野県立信濃美術館の方が魂がある気がします。	
35	説明会	いろいろな意見があることがわかった。名称決定について批判がでないよう、アンケート等数字で残せる資料作成が必要かもしれないと思う。個人的には、未来への方向性を見据えての「長野県立美術館」という名称は良いと思いました。	
36	説明会	北信では信濃が定着しているが、長野県は南北に長いので、中南信の方々はシンプルに「長野県立美術館」が県民の声だと思います。	
37	説明会	新しい方向を示すための命名は大事。	
38	説明会	ネーミングライツで企業の名前がつけなければ、長野でも、信濃でも、信州でも良いと思いません。	
39	説明会	県立美術館という名称は味気なく、既にある山梨県立美術館に比べ見劣りする。	

		信濃の方が長野県民を団結させるのに有効。信濃美術館の名称は既に永く定着した歴史のあるもので、捨てるのには忍びない。百歩譲って長野県立信濃美術館を正式名としてのこしたらどうか。
40	説明会	長野県立信濃美術館とすべきと思う。信濃をはずす理由がない。特徴がなくなる。県歌「信濃の国」で全国的に知られている。県立信濃美術館で充分世界に通じると思う。
41	説明会	信濃美術館の歴史が50年以上あるので、そのままとされたい。
42	説明会	信州や信濃に詩情、ロマンを感じる。長野県立美術館はつまらない。
43	説明会	信濃美術館の名称が一番良いと思います。
44	説明会	特徴、個性を持たせた名称にしてほしい。例えば「しなの」入れる。
45	郵送	名称「信州県立美術館」
46	郵送	長野県立信濃美術館がよいのではと考えます。このように基本の表示をしておきますと、どちらからも見出すことが可能となります。長野県立美術館と呼ぶと長野県立信濃美術館が表示される。信濃美術館と呼ぶと長野県立信濃美術館が表示される。慣れ親しんできました「信濃美術館」の表示は愛称としてでも、是非とも残していただきたいと思います。外国の方々にはオリンピックなどで使われている「長野」が入り、美術館で見出すことができますので全く問題が起きないと考えます。信州信濃の国は残すべき長野県の宝であります。「信濃美術館」は是非とも残していただきたい、良い名称と思います。
47	F A X	長野県信濃美術館、県信濃美術館というふうに目にしますが、県立信濃美術館としたらよいと思います。
48	F A X	<ul style="list-style-type: none"> ・「長野県立美術館」という名称は無個性で、無機質で、この名称から何の感慨も生まれてこない。「県立」とついているだけでは、どんな美術館かはわからない。 ・長野県の美術館として全国に蓄積された評価が定まっていな以上、これまで大切にしてきた「しなの」という名称を残すことで、県内外の人たちに郷土とともに生きてきた美術館であるといった思いを感じてもらえと考える。 ・「長野県立美術館」とすることで、ブランドとしての「長野」をアピールでき、同時にこれまで大切に育ててきた郷土への想いもそこに表現することができるかと考える。英語表記は、例えば「Nagano Prefectural Museum of Art-Shinano」とするなり、単に「Nagano Prefectural Art Museum」とするなりして、スマートにしたらよい。必ずしも日本語表記の直訳の必要はないと考える。
49	F A X	長野県立美術館の名称に賛成します。他県の県立美術館に負けない施設として県立美術館とした方がよいと考えます。信濃美術館は市営や民間の施設だと思っていました。
50	メール	東山魁夷先生の思いを後世に残すため、先生の名を添えてほしい。
51	メール	「便利だから」、「分かりやすく」という言葉で、今までの歴史を軽んじる「歴史に学ばない」

		<p>好例です。明治時代、「長野」県となるまでに、幾多の変遷がありました。第二次世界大戦後にも、長野県分割が議論されています。伝説ではありますが、分割やむなし、という議会上で、「信濃国」が歌われたと言われています。この県を「長野」と呼ぶこと、この地を「信濃」、「信州」と認識すること、県民の思いは様々です。</p>
52	メール	<p>A 案「長野県立信濃美術館」 B 案総称：「長野県立美術館」 本館：「信濃美術館」 別館：「東山魁夷館」</p> <ul style="list-style-type: none"> ・半世紀にわたり広く県民に慣れ親しまれ、国内の美術館の世界（業界）においても認知され、定着し、県民に愛着のある名称である。 ・「信濃」の呼称は、古来より現在の長野県を総称するものであり、県歌「信濃の国」に代表されるように、長野県民の意識の一体性を示し、別称の「信州」の呼称とともに歴史的にも観光面でも長野県をイメージする呼称である。 ・多くの県民に惜しまれながら解体された先代の「信濃美術館」をオマージュする観点からも、「信濃美術館」の名称を将来にも引き継いでいく必要がある。
53	メール	<p>新名称 しなの美術館</p> <ul style="list-style-type: none"> ・〇〇県立美術館、〇〇市立美術館は個性がない。 ・観光客は「信州」あるいは「信濃路」に来るイメージが強く、市販されているガイドブックに長野県はない。 ・長野県立美術館は、長野県の作った長野市にある美術館と感じられ、中南信の人に親しみがあるか疑問。オリンピック開催地は City of NAGANO で Pref. of NAGANO でない。
54	メール	<p>歴史と長い思い出の信濃美術館として残したいがこれからの新しい未来へ向かうことからリボンよりさらに新しい創造からも長野県立美術館で良いと考えます。</p>
55	メール	<ul style="list-style-type: none"> ・県立の美術館である以上、「長野県立美術館」に名称変更することは当然のこと。 ・「信濃美術館」という名称では、県の責任が明確でないので、「県立」と名称に明確に位置付けることにより、運営上の県の責任が明らかになる。 ・「信濃美術館」は元々民間からの譲渡を受けて始まった建物であり、今回、初めて、県立美術館として建設するとお聞きしています。「信濃美術館」のままでは、こうしたしがらみを残すイメージがあり、心機一転、新しい歴史をスタートしていくという「決意」が感じられないように思います。
56	メール	<p>建て替えたとしても、美術館としての担う役割は変わらず、そのため同名でもよいのではないのでしょうか。開館し 50 年、信濃美術館として親しまれています。名称変更により、それまでの美術館の歴史が変わることはありませんが、同名として、さらに歴史を積み重ねるためにも同名のほうがよいのではないのでしょうか。</p>
57	メール	<p>正式名称：長野県立信濃美術館、略称：信美及び長野県美 英文：Nagano Prefecutural Museum Of Art（対外向け英文ではあえて「信濃」を表示する必要は無いと考える。）</p> <ul style="list-style-type: none"> ・「長野県立」と「立」を入れることで、県立の美術館であることが明示される。

		<ul style="list-style-type: none"> ・「長野」「長野県」「美術館」と検索語を入れればヒットする。 ・長野県が道州制で無くなっても、「信濃」が入っていることで、アイデンティティが保てる。「長野県立美術館」では、県名が変わった際に対応が困難になる。明治以来の経緯を考えると、私たち長野県民には、「信州」「信濃」は様々な局面で必要になる場合があるばかりでなく、長野と信州、信濃は常に一体として考えるべきではないでしょうか。 ・1966年の創立以来半世紀以上にわたり「信濃美術館」の名称は、県民に親しまれたもので、「信濃」が入ることで、県民の美術館であるというアイデンティティを保持してきたという側面がある。信州、信濃という言葉が長野県民のアイデンティティでもあることは周知のことで、その象徴が県歌「信濃の国」である。今、あえて「信濃」を美術館の名称から外す理由はないどころか、長野市の美術館、北信の美術館というイメージを強く示すことになり、自分たちのもとから遠い存在になったという思いが出てくるのではないかと。
58	メール	<p>信濃美術館は昭和36年ころから「長野県に美術館を建てよう」という県民の機運があったが財政的な問題もあり、財団法人として昭和41年4月に開館、その後県に管理を移管したものである。確かに県立美術館と言う呼称は全国的にはほとんどの道府県で使われており。現在建設、構想中の鳥取県や鹿児島県においても県立美術館として計画を推進中である。一方、京都府には府立堂本印象美術館があり唯一の例外かと思われるが、これは、堂本印象が設立した美術館の寄付を京都府で受けたもののようで、経過がしのばれる名称である。今般、「長野県立美術館」へと名称変更が提起されているが、新しい美術館は、今までとは全く異なるものになるので名称もとの考えは理解できるが、個性を競う美術の世界で、せっかくある個性を無くし、どうして他県と同じにしてしまうのか理解し難い。「信濃美術館」には県民の思いによって作られたという経過が込められていることから外せば「県民の美術館」の看板を下ろすことにもなりかねず、外すわけにはいかないと思うので「長野県立信濃美術館」とするのが自然。</p>
59	メール	<p>信濃美術館の名称は既に県内外に認知されています。また、「信濃」の呼称は、国内外にも「信州信濃の善光寺」「信州諏訪の御柱」や「県歌信濃の国」などのように知られております。「信濃」の名称をさらに広め深めることこそが、長野県（信濃の国）にとって大切なことでもあります。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・「長野」というと、県北の旧長野市内の一角の狭い地域を指したり、北信地域を指したりするものです。「長野」という狭い地名に限定された名称より、「信濃」という歴史的過去から現在へ長い時代を生きてきた伝統ある地名を基盤にして、世界へ信濃の美術を発信し、世界の美術を信濃に紹介する拠点とすることです。 ・「信濃」「信濃美術館」は、「長野県立」「県立美術館」よりも、信濃の国のイメージが湧きやすく、ネット検索はしやすく、とても馴染みのある気高く愛すべき名称です。 ・「信濃」の名称は、日本古来よりの由緒ある歴史地名で『古事記』『日本書紀』や『万葉集』はじめとする日本の古典（和書）にも登場する千数百年の歴史を刻むかぐわしい伝統的な行政地名であり文化地名であります。

		<ul style="list-style-type: none"> ・「長野」という狭い地域地名と浅い歴史の「長野県」という広域行政地名より、伝統的な歴史の重みと人々が積み重ねてきた文化を象徴するものが「信濃」なのです。新美術館が信濃の歴史と文化を包含した展示と信濃の優れた縄文から現代までの美術作品を発掘し展示し保存し、世界に信濃美術の発信をされたい。 ・これまで脈々と広め使われ愛されてきた「信濃美術館」の名称と、その営みを無駄にすることなく、さらに国内外に広げ深めていくことが信濃美術館の継続する力であり大切なことでもあります。県立の美術館なのですから、「長野県立信濃美術館」もしくは「長野県信濃美術館」で充分だと考えます。
60	メール	要望案 長野県立信濃美術館。「信濃」と言う名前は長野県人にとって親しみを持って使用している。従来、信濃美術館を使用してきたのでぜひ残してほしい。
61	メール	<ul style="list-style-type: none"> ・分かり易く、名称から県を代表する美術館として伝わる。 ・千曲市にある「長野県立歴史館」と並んで、「県立」で統一され整理できる。 ・冬季五輪で世界に名を売った「長野」の名称を使うことが良い。 ・「信濃」の名称は、県民以外にわかりにくい。 ・信濃美術館では、今までのイメージが払拭できない。せっかく新しい美術館を建設しながら、新鮮さを感じられない。
62	メール	「県立美術館」は、どこの県にもある、ありきたりな名称でつまらない。「長野」は省略され「県立美術館」と呼ばれ、「長野」や「長野五輪」に繋がらない。現状も「長野県信濃美術館」であり、「長野」が入っており海外の方にも十分わかっていただけの名称である。長野県管轄の「長野県立」を強調したいのであれば、妥協案として「長野県立」も従来の「信濃」も入っている「長野県立信濃美術館」を提案する。
63	メール	<ul style="list-style-type: none"> ・長野県の呼称として、信州、信濃、長野などがあるが、今後の国際化の進展を考えると、長野が最もふさわしい。 ・県立であることを明確にするため、県立の名称をつける必要がある。 ・最近設置した施設として「長野県立武道館」があり、これと合わせる事が適当。
64	メール	「長野県信濃美術館」として、既に広く定着し知名度もあり、東山魁夷館と並んでブランド力もあります。変更することで、知名度やブランド効果をすべて捨ててしまうことになる。「長野県立美術館」は、安易なネーミングであり、他県の県立美術館と差別化できない、どこも一緒のイメージがする。「長野県立美術館」で検索をすると、「長野県信濃美術館 東山魁夷館」が上位に現れます。
65	メール	理由は「分かりやすい」これに尽きる。県外の人にとって「信濃」といわれても「どこ？」って思う人がほとんど。長野県に住んでいる私も最近まで県立なのか、市立なのか、私立なのか、よく分からなかった。意外とネーミングで旅行雑誌を見ている人の目に留まるか留まらないか違って来る。多くの県外の人に訪れてもらうためにも、一番分かりやすい「長野県立美術館」が良い。